

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2023年度 佐久大学 一般選抜（前期）

『 国 語 』

（2023年 2月 6日 実施）

【 注 意 事 項 】

1. この試験問題の解答時間は60分です。
2. 解答用紙はすべて HB の黒鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
3. 試験監督者の指示に従って、この問題冊子の表紙と解答用紙の指定欄に受験番号と氏名を記入及びマークしてください。
4. メモ等には問題冊子の余白や裏面を利用してください。
5. 解答時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて試験監督者に知らせてください。
6. 問題を読む際、声を出したり、音を立てたりしてはいけません。
7. この問題冊子は持ち帰ってはいけません。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

第1問

次の文章は、堤未果『デジタル・ファシズム 日本の資産と主権が消える』の一節である。この文章を読んで後の問い（問一～問六）に答えなさい。【得点50点】解答番号

1

 ～

9

実はAフィンランドの学力がかつてとても低かったことは、あまり知られていない。

1970年代には、高等教育を受けた大人は人口の2割しかいなかった。ならば一体どうやって、世界から絶賛される教育システムを構築できたのか？

答えは大人たちが40年以上、ひたすら持ち続けた「子供たちの未来を善きものになりたい」という信念だ。

同国の教育学者、バシ・サルバーク博士によると、フィンランドでは学力が低かった70年代以降、20回以上政権交代を繰り返し、30人の教育担当大臣が生まれては去っていった。

a

 その間40年以上に渡り、子供たちの未来に関わる「教育」については、与野党関係なく全政党が、同じ方向を向いて一致していたという。

〈教育は、この国の政治の最重要課題である〉

その間、世界中で教育をめぐるトレンドは変化した。

〈I・Qの高い生徒を集めて、集中的に能力を伸ばそう〉〈私立と公立を競争させよう〉〈成績の低いクラスの教師を公表しよう〉〈詰め込みがダメならゆとり教育だ〉等々、競争原理を導入したり、極力無駄を省いたり、短期で目に見える結果を出そうと、様々な試みがあちこちの教室で行われた。

だがフィンランドの政治家や行政職員は、決してこうした目先の政策に飛びつくことなく、ただひたすら〈国家の最優先課題〉として、教育の質を上げるための方法を、日夜考え、話し合い、少しずつ時間をかけて進めていった。

彼らは知っていたのだ。

教育を改革するためには、決して焦ってはいけないこと。時間をかけてタネをまき、ゆつくりと育ててゆく必要があることを。

アメリカや中国に後れをとるなど、B デジタル技術だけ拙速に導入して、大切なことを見落とせば本末転(1)トウだ。注1 前述したように私たち大人ができることは「公教育」という公共空間の価値を認識すること、そこに入る私企業が子供たちの未来や人権を脅かさないう、法の力でしつ

かり線引きをすることだ。

特区やスーパーシティを中心に、これから確実に増えてゆくであろう公設民営学校には、特に注意が必要だろう。コロナ禍のデジタル化とタイミングを合わせて市場拡大を狙う外資系教育ビジネスが、法律に縛られない両地域に確実に参入してくるからだ。80年代以降「教育改革」の名の下にターゲットにされ、デジタル化を通して解体の最終仕上げをされそうになっているアメリカ公教育の歴史には、多くのヒントが隠されている。

この先長期にわたりビジネスチャンスをもたらす、マイナンバーと紐づけられた子供たちの学習⁽²⁾履歴が、国内外の教育ビジネスに流れないよう注意しなければならない。子供たちの個人情報を守るには、私たち大人の強い意思と立法府や自治体の心ある議員たちの連⁽³⁾ケイになる。

b 何よりも大事なものは、当事者である子供たちと、この世界を動かしているものの存在について対話の時間を持つことだ。

^{注2}ビッグテック企業は、今、途方もない権力を持っている。

私たちは自分で選んでいるつもりで、実は思想を形成されながら生きていく。大人ならばそれに気づけるが、生まれた時からスマホがあり、便利な世界で生きるデジタル世代がその違いに気づくのは難しい。

^{注3}G A F A がトップに君⁽⁴⁾リンするこの世界は、これからますます快適になり、よりスマート化していくだろう。その中で私たちが子供に教えられることがあるとしたら、いかにG A F A の中で快適に生きるかではなく、「G A F A の外にも世界がある」という真実だ。

G A F A の外にも世界は存在する。

G A F A の中で評価されない人が評価される世界がある。

未来の選択肢は無限にあるということを、子供たちに教えなければならぬ。

「デジタル・ファシズム」の中でも、最もファシズム化していく分野は教育だからだ。

それは長期にわたって人間の思想を形成し、最も⁽⁵⁾セン練された形で、国家と、そこに住む人間の力を削いでゆく。テクノロジーは私たちに多様な考え方をさせる代わりに、自らの想像力の範囲を狭めてゆく。

足元で何が起きているのかを、心の眼でしっかり見なければならぬ。

A I は、問いをくれない。くれるのは答えだけ。もし人間から「問う力」がなくなれば、「考える力」も失ってしまうだろう。

C 人間にとって大事なものは、「問う」ことなのだ。

ニュースを見ても、人と会っても、季節の移り変わりを見ても、「なぜ?」「どうして?」といつも好奇心を持ち、問いを口に出すことで、目に

映る世界は大きく、広く、深まっていく。

問いがあるから、自分で考え、知らなかった答えに出会うことができる。

ドイツの哲学者マルクス・ガブリエルはこう言った。

「AIには倫理がない。c 絶対にはAIが人間に教えることはない信じたい」

肉体がなく決して死なないAIには、倫理観がない。

なぜなら倫理観とは、死を迎えるからこそ持てるものだからだ。

倫理観や哲学は、人間が内側の世界を深めたり、それによって見ている世界を大きく^{ひろ}広げたり、間違った方向に暴走しようとした時、私たちが

人間らしさを失わないために、原点に戻って踏みとどまるための羅針盤になる。

教育のデジタル化の本質は、どれだけ世界に追いつくかでも、技術がどれほど進化しているかでもない。

デジタル世代の子供たちが高速の世界に生きる今、私たち大人がなすべきことは、周りが猛スピードで進む中、あえて立ちどまり、テクノロジーと教育の関係を、もう一度じっくり考え直すことだろう。

教員が人間的な業務により時間を割けるようにと、日常的な実務を補佐するはずだったテクノロジーが、いつの間にか教員を^{はた}傍に追いやっていくこと。パンデミックが起きた時、教員を増やし、屋外での授業を増やすのではなく、なぜ初めからデジタル一択しか選択肢が与えられなかったのか。

これらは今世界のあちこちで、政府が答えることをしなかった、教員たちからの疑問の数々だ。

注1ー引用部に先行する箇所、「公教育」という公共空間の価値がいかに重要か、筆者は力説している。

注2ー米国の主要IT企業の中で、最も規模が大きく、名声のある企業を指す名称。

注3ービッグテック企業を構成する、グーグル (Google)、アマゾン (Amazon)、フェイスブック (Facebook)、アップル (Apple) という四社の総称。ガーファと発音する。

問一 傍線部(1)～(5)のカタカナと同一の漢字を使うものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

1

く

5

- | | | | | |
|-----|---------------|-------------------------|---------------------------|----------------------------|
| (1) | 本末転 <u>トウ</u> | ① 申し込みがサツ <u>トウ</u> する | ② <u>トウ</u> ブンを過剰に摂取する | ③ ゲキ <u>トウ</u> の末に勝利する |
| | | ④ コセキ <u>トウ</u> ホンを取得する | ⑤ 宿敵をダ <u>トウ</u> する | |
| (2) | リ <u>歴</u> | ① ひどい <u>ゲリ</u> でおなかが痛い | ② 高級カ <u>ンリ</u> に登用される | ③ 歌舞伎俳優の社会を <u>リ</u> エンという |
| | | ④ 入口で <u>ゾウリ</u> をぬぐ | ⑤ <u>ヒョウリ</u> 一体をなす | |
| (3) | 連 <u>ケイ</u> | ① 芝居の <u>ケイ</u> コに没頭する | ② <u>ケイ</u> ジバンに通知を出す | ③ <u>ケイ</u> タイ電話を解約する |
| | | ④ キュウ <u>ケイ</u> 時間を確保する | ⑤ 優雅な暮らしをショウ <u>ケイ</u> する | |
| (4) | 君 <u>リン</u> | ① クブ <u>クリン</u> は成功する | ② <u>リン</u> ジ国会を召集する | ③ 新構想の <u>リン</u> カクを描く |
| | | ④ 窓ぎわにフウ <u>リン</u> を下げる | ⑤ キン <u>リン</u> 諸国と友好関係を築く | |
| (5) | セン <u>練</u> | ① セン <u>スイ</u> カンに乗船する | ② 東京からのセン <u>ト</u> を検討する | ③ 参考書にフ <u>セン</u> を貼る |
| | | ④ 選挙のスイ <u>セン</u> 人になる | ⑤ セン <u>タク</u> キを買い替える | |

問二 傍線部A「フィンランド」とあるが、その事情として適当ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 6

- ① 1970年代には高等教育を受けた大人は人口の2割しかいなかった。
- ② 現在までに世界から絶賛される教育システムを構築したと見なされてきた。
- ③ 政権交代を繰り返しても「教育」については全政党の思惑が一致していた。
- ④ 競争原理を導入したり、極力無駄を省いたり、様々な試みが行われた。
- ⑤ 政治家も行政職員も焦らず時間をかけて教育を改革して成功した。

問三 本文中 a c の三つの空欄に入る言葉の組み合わせとして最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

7

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|------|---|------|
| ① | a | そして | b | ところが | c | なぜなら |
| ② | a | だが | b | そして | c | だから |
| ③ | a | さて | b | すなわち | c | あるいは |
| ④ | a | また | b | つまり | c | しかし |
| ⑤ | a | だから | b | あるいは | c | そのうえ |

問四 傍線部B「デジタル技術だけ拙速に導入して」とあるが、当初デジタル技術を教育に導入した目的としてふさわしい内容を文章全体から探し、「ため」に続く形で本文から三十五字以内で抜き出し、解答用紙に記入しなさい。(句読点・記号等も一字に数える)

問五 傍線部C「人間にとって大事なものは、『問う』ことなのだ」とあるが、「問う」ことの意義として最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

8

- ① AIが人間に何かを教えることではなくて、私たち人間がAIに何かを教えること。
- ② あえて立ちどまり、テクノロジーと教育の関係を、私たちがもう一度じっくり考え直すこと。
- ③ 死を迎えるからこそ持てるものである倫理観を養い、それに基づいた哲学を私たちが学ぶこと。
- ④ 人間らしさを失わないために、私たちが原点に戻って踏みとどまる羅針盤を手に入れること。
- ⑤ 私たち人間がいつも好奇心を持ち、自分で考えることで知らなかった答えに出会うこと。

問六 本文の内容に合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

9

- ① 成績の低いクラスの教師ではなくて、むしろ成績の高いクラスの教師を公表することが、教育を効果的に改革する。
- ② フィンランドのパシ・サールバーグ博士とドイツの哲学者マルクス・ガブリエルは、共同して教育を研究している。
- ③ 特区やスーパーシティの公設民営学校には、日本の法律に制約されない外資系教育ビジネスの参入が懸念される。
- ④ G A F Aの外にも世界は存在するという確信のもと、日常生活からG A F Aを締め出す試みが開始されている。
- ⑤ コロナパンデミックが起きた時、教員を増やし、屋外での授業を増やして学力を大増進させた諸国も存在する。

第2問

次の文章は、帚木蓬生『花散る里の病棟』の一節である。この文章を読んで後の問い（問一～問八）に答えなさい。【得点50点】

解答番号

10

～

18

次の受診日、A須藤^{すどう}さんは手土産に彦山^{ひこやま}ガラガラを持って来てくれた。

わたしが幼い頃に見た小さな土鈴の寄せ合わせではない。テニスボール大の大きな鈴だ。振ると、低く力強い音がする。

「うちでは、大中小の鈴ば作っとって、これは大のほうです。こっちに呼び寄せられるとき、一個ずつ持って来たとです」

ア「思い出の品ではなかつたか」

「よかです。今の家には飾つてももらえんすけん」

わたしは再度、ガラガラを振ってみた。

「よか音です。この音を聞けば、鬼も退散するでつしよ」

須藤さんは目を細め、わたしの振る鈴の音を懐かしげに聴いた。

「こげな句もあります。〈みどり谷 彦山ガラガラ ひとり占め〉」

一句がすんなり須藤さんの口から漏れたので、わたしは腰を浮かした。

「誰の句ですか、それは」

「下手でつしよ。あたしの句です」

須藤さんは、先生に名指しされた生徒のように、ほんのり頬を染めた。

イわたしはもう一度、言ってもらい、自分の口で復唱する。

I

「春の句ですね。ガラガラの音が、谷間に響くのが伝わってきます。B須藤さんは、俳句をされるとですか」

「(1)下手の横好きですばい。こげなともあります」

II

「なるほど、なるほど。鶯うぐいすの初鳴きと彦山ガラガラは、違つとるようで、似とります」

「イわたしは妙たぎに納得納得する。」

「ホーホケツキヨと鳴く時期とは、えらい違いです。初めの頃の鶯はゲツゲツとかグツグツとか汚か声でつしよ。ガラガラとはよか勝負です」

「須藤さん、いい趣味を持つとりますよ」

「彦山の麓は俳句が盛んで、いくつも会があるとです。ほら、あの注1杉田すぎたひさじよ久女の影響でつしよ」

「ありましたね、久女の有名な句」

期せずして須藤さんとわたしは同時に口を開く。

III

「実を言うと、さっきのあたしの句は久女の真似まねです」

須藤さんはニツと笑う。「久女は山ほととぎす。こつちは彦山ガラガラです」

「確かに、そげんです。春の山に立つと、ガラガラの音は遠くまで響くとでつしよね」

わたしも笑い、貰もらったばかりのガラガラを振ってみる。診察室いっぱい音響き、看護師が顔を出した。

「何でもなか。振ってみただけ」

看護師にわたしは彦山ガラガラを見せ、もう一度、音を聞かせた。

「普通の鈴とは違いますね」看護師が言う。

「違う違う。土の匂いのする鈴」

それ以来、来院のたび、須藤さんは自分の作った俳句をわたしに披露した。

裏山で 蕨取りてや 朝の汁

山里や ひらりひらりと 桜散る

蕨や桜の季節はとうに過ぎていたものの、わたしはそこに須藤さんの元の生活を見る思いがした。

彦山の 久女の句碑に トンボ舞う

自分の句をどこかに書き留めているのか、それとも頭のなかにしまっているのか、須藤さんはすらすらと口にした。わたしは繰り返してもらいながら、診療録に横書きで記した。

来院の都度須藤さんが教えてくれる自信作は、古里で詠まれた過去の句ばかりだった。

「注²こちらではもう俳句はやらんとですか」

わたしの問いに、須藤さんは無言で首を横に振った。

夏が過ぎ冬になり、暮^くにさしかかる頃、須藤さんは痩せが目立ってきた。C 目にも心なしか光が薄らぎ、背も丸くなった。

須藤さんの家は五人暮らしだ。嫁は専業主婦なので、一日中家にいる。娘が二人いて、長女のほうはオーストラリアの短大を卒業して帰ったばかりらしい。次女は高校三年だ。須藤さんがひと部屋あてがわれているので、ひと部屋を孫娘二人で使い、次女は縁側に机を置いて勉強しているという。

「昼間、嫁はあたしと口をきかんのです」

須藤さんはぼつりと漏らした。

「昼ごはんは一緒に食べるとでっしょ？」

「一緒に食べます。けんど、向こうからは何も話しません。あたしが気をつかって何か言うと、⁽²⁾眉間に皺^{しわ}を寄せるだけです。黙ったままで、返事もありません。食事がすむと、ごちそうさんと行って、あたしは自分の部屋に引っ込みます。嫁は嫁で二階に上がるとです」

そんな食卓では、食がすすむはずはない。

息子さんが同席する朝飯と夕飯では、息子が心配して声を掛けてくれるという。

「孫娘はどうですか」

「留学して帰ってきた上の娘は、仕事探しがうまくいかんのか、あたしには声も掛けてくれません。あたしを見ないようにしとります」
「それだったら、町の中を少し散歩したらどげんでしょう。駅の近くにはモールもあるし、商店街もあります」

「年寄りがあげな所を歩いとつても、場違いですけん」

須藤さんはかぶりを振った。

「ソフトクリームを食べたり、大福餅を買ったりできますよ。血圧には関係しません。糖尿病はなかですし」

わたしの提案はやりわりと退けられた。

「自由になるお金はなかです。ここに来るときも、通院費だけ、嫁がテーブルの上に置いとります」

須藤さんは眼を伏せて、ぼそぼそと言った。

ウ 一年金があるでつしよ。田舎を出るとき、貯金もあつたとはなかですか」

傷つけないようにわたしは聞き返す。

「通帳は全部取り上げられました。もともと年金は少ななかつし、食い扶持も入れにやいかんで、そげんしたとです」

わたしは黙るしかなかつた。須藤さんは大きな息をし、胸の内を吐き出すようにして言葉をついだ。

「こん前、下の孫から『ばあちゃん、いつ死ぬの』と訊かれました」

えつとわたしは驚く。

「あたしが死ぬと、ひと部屋あくので、待つととるでしよう。死ぬために、毎日生きとるのは切なかです」

IV

須藤さんは立ち上がり、「今日は、愚痴ばかり言つてすみません。どうか忘れて下さい」
主治医を氣遣つて頭を下げ、須藤さんは診察室を出て行つたのだ。

注。須藤さんが落とした小銭入れには、診察費と薬代のおつりが貯められていたのかもしれない。

バスターミナルの雑踏の中で、いくつもあるバスの行き先を眺めやる須藤さんの姿が眼に浮かぶ。

目的の漢字は見つからない。誰かに訊こうとしても、みんな忙しそうだ。小銭入れだけはしっかりと握りしめ、右往左往したに違いない。どうしたものかと、心細くなりかけて立ち止まった拍子に、若者がどんとぶつかる。

地面に散らばった硬貨をどうやって拾えばいいのか。かがめば、また人の足にぶつかる。

須藤さんは柱際にしゃがみ込む。情けなくなり涙が出てくる。田舎でも、息子一家のところでも泣かなかつた。工 須藤さんの目に、初めて涙が溢れる。変に思われたらいけないので、⁽³⁾ 嗚咽を押しこらして泣く。

「おばあちゃん」

子供の声に目を開けると、女の子が手を差し出していた。オ 小さな手のひらには、拾い集めた小銭がのつている。

女の子の母親が、どこに行くのか問うてくれるものの、行き先さえも忘れていた。若い母親に促されて、交番まで歩きながら、須藤さんが思い描いたのは、息子夫婦の顔だったろう。

嫁はより一層眉を吊り上げて須藤さんを睨みつけ、息子もこれまでの態度を一変させて、説教を始めるに違いない。もうあの家にはいられない。かといって、田舎に果たして帰れるのか。どちらの可能性もなさそうに思われた。

次回、須藤さんは、おそらく初診同様、息子に付き添われて来るに違いない。

そのとき、わたしは^{注4} 老健入所を勧めてみるつもりだ。

老健の入所者で俳句の会をつくってもいい。職員もそこに加わり、須藤さんに指導してもらおう。

実を言えば、わたしも下手の横好きで、句はひねっている。医師会の句歌誌に寄稿はしているものの無手勝流の俳句だ。須藤さんのまわりに集う句会に参加してもいい。

^{注5} 英語に堪能な安田さん^{やすだ}も案外、句会に興味を示すかもしれない。外国で今流行^{はや}っているように、英語の H A I K U をつくってくれる可能性もある。

そうなると、月に一回くらい、手づくりの句誌を出すのも夢ではない。どんな句でも歓迎だ。季語などない、つぶやきのような句でも構わない。

D わたしの夢はふくらんでいく。

注1―鹿児島県出身の俳人（一八九〇～一九四六年）。

注2―高齢の「須藤さん」は一人暮らしを続けていた彦山という地から、長男家族と同居するために現在の地へ転居してきた。

注3―ある日、「須藤さん」は旧友に会うためバスに乗ろうとしたが、旧友の住所を記した紙片を無くして、どのバスに乗るのか、わからなくなつて慌てふためいてしまったことがあった。この段落はそのときのことを描いている。

注4―介護老人保健施設の略称。「わたし」が営むクリニックは介護老人保健施設を併設している。なお、介護老人保健施設は、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下で、看護や介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供する。

注5―「安田さん」は「わたし」が営むクリニックが併設する介護老人保健施設に入所している男性で、海外生活が長くて日本語よりむしろ英語を日常語として長らく使用してきた。

問一 傍線部(1)～(3)の本文中での意味として最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

10

～

12

(1) 下手の横好き

- ① 下手だという自覚があればこそさらなる上達を目指すこと
- ② 上手か下手かは気にせずにある物事をひどく好むこと
- ③ 下手であればあるほど無意味なことに夢中になること
- ④ 妬みや僻みひがみを避けるためにわざと下手なふりをする事
- ⑤ 下手であると宣言することで要らぬ批評を避けること

(2) 眉間に皺を寄せる

- ① 取るに足らぬ相手だと完全に見下す
- ② 殴りかかろうとするほど激しく怒る
- ③ 表情も変えず何も聞こえないと装う
- ④ あからさまに不機嫌な様子を見せる
- ⑤ 続く発言を封じるべく目で合図する

(3) 嗚咽

- ① 感情が高ぶって咳き込むこと
- ② 感動の涙を禁じ得ないこと
- ③ 大声で号泣すること
- ④ 大声をあげて喚き散らすこと
- ⑤ 声を詰まらせて泣くこと

問二 傍線部A「須藤さん」とあるが、その病状として本文から確実に読み取れることを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 血圧に問題がある。
- ② 糖尿病予備軍に属する。
- ③ 初期の認知症を呈する。
- ④ 心臓疾患を抱えている。
- ⑤ 骨粗鬆症である。

問三 本文中の空欄 I Ⅲ に入る俳句の組み合わせとして最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 14

- | | | | | | |
|---|---|-------------------|----|---|-------------------|
| ① | I | みどり谷 彦山ガラガラ ひとり占め | II | Ⅲ | 初鳴きに 彦山ガラガラ 唱和して |
| ② | I | 銜して 山ほととぎす ほしいまま | II | Ⅲ | みどり谷 彦山ガラガラ ひとり占め |
| ③ | I | みどり谷 彦山ガラガラ ひとり占め | II | Ⅲ | 銜して 山ほととぎす ほしいまま |
| ④ | I | 初鳴きに 彦山ガラガラ 唱和して | II | Ⅲ | 銜して 山ほととぎす ほしいまま |
| ⑤ | I | 銜して 山ほととぎす ほしいまま | II | Ⅲ | 初鳴きに 彦山ガラガラ 唱和して |

問四 傍線部B「須藤さんは、俳句をされるとですか」とあるが、「須藤さん」が診察の都度教えてくれる数々の俳句に接した「わたし」の思いとして最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 15

- ① 彦山の麓は俳句が盛んでいくつも句会があると聞き、羨ましかった。
- ② 親しい患者が高名な俳人だった事実を知って驚き、腰を抜かした。
- ③ 杉田久女の指導を受けた秀作に触れて、感動を禁じ得なかった。
- ④ 同じく俳句を嗜む立場で、俳人としての優劣を考えてしまった。
- ⑤ 古里で詠まれた過去の数々の俳句から元の生活を知る思いがした。

問五 傍線部C「目にも心なしか光が薄らぎ、背も丸くなった」とあるが、「わたし」が推察したその理由として最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 16

- ① 寒さが厳しくなり、病状が悪化しているのではないか。
- ② 後期高齢者に特有の様々な合併症が出ているのではないか。
- ③ 同居家族から深刻な身体的虐待を受けているのではないか。
- ④ 思うように句作が進まずに苦しんでいるのではないか。
- ⑤ 家庭生活に起因する心労が蓄積しているのではないか。

問六 本文中の空欄Ⅳに入る内容として最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 17

- ① わたしは俳句を詠みたくなる
- ② わたしは二の句が継げない
- ③ わたしはびくともしない
- ④ わたしと看護師は号泣する
- ⑤ 看護師はわたしを責める

問七 傍線部D「わたしの夢」とあるが、その具体的な内容を説明した次の文の空欄に合うように、本文中の言葉を使って、三十五字以上四十字以内で解答用紙に記入しなさい。(句読点・記号等も一字に教える)

・
[]、月に一回くらいは手づくりの句誌も出したい。

問八 各波線部の表現の説明として適当ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

18

- ① ア：「思い出の品ではなかですか」「よかです。今の家には飾ってもらえんすけん」という会話にあるように、方言がふんだんに用いられ、物語に現実味を与えている。
- ② イ：「わたしはもう一度、言ってもらい、自分の口で復唱する」「わたしは妙に納得する」とあるように、「わたし」は須藤さんの病状より俳人としての技量に関心がある。
- ③ ウ：『年金があるでっしょ。田舎を出るとき、貯金もあつたとはなかですか』傷つけないようにわたしは聞き返す』には、医師の裁量を超えないようにという「わたし」の配慮が認められる。
- ④ エ：「須藤さんの目に、初めて涙が溢れる」というのは、「わたし」が須藤さんの生活の現状から想像したこと、実際に見たわけでも須藤さんから聞いたわけでもないことである。
- ⑤ オ：「小さな手のひらには、拾い集めた小銭がのつている」は、見知らぬ少女の温かい優しさを描くことで、須藤さんの家族の冷酷さをいっそう際立たせている。

